

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公表番号】特表 2004-536984 (P2004-536984A)  
【公表日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-048  
【出願番号】特願 2003-517381 (P2003-517381)  
【国際特許分類第 7 版】  
E 0 2 F 9/10  
【F I】  
E 0 2 F 9/10

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 1 月 22 日 (2004.1.22)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

車両のシャーシ (2) と上部構造 (3) とを備えた、特に掘削機 (1) またはローダである車両、および、前記車両のシャーシ (2) 上で前記上部構造 (3) を変位させるための装置 (10) であって、前記上部構造 (3) は、運転者の運転台 (7) と、工具 (6) を備えたブーム (5) と、前記シャーシに対して前記上部構造 (3) を回転させるための回転駆動装置 (15 または 26) とを支持し、前記回転駆動装置 (15 または 26) および前記シャーシ (2) 内の油圧式装置に対する動作圧が、前記上部構造 (3) に生じ、前記上部構造 (3) は、前記回転駆動装置 (15 または 26) と係合することによって駆動される駆動リング (16 または 23) を介して前記シャーシ (2) に接続され、

前記装置 (10) は、偏心板 (11) および / または変位板 (21) を有し、前記偏心板 (11) および / または変位板 (21) は、前記上部構造の前記駆動リング (16 または 23) を支持し、変位軸受 (13) またはガイド (22) を介して前記シャーシ (2) に接続され、前記装置 (10) は、上部構造 (3) とシャーシ (2) との間に圧力手段のダクト (12 または 24) を有することを特徴とする、車両。

【請求項 2】

前記駆動リング (16) は、前記回転駆動装置 (15) と係合し、前記偏心板 (11) の上側に配置されることを特徴とする、請求項 1 に記載の車両。

【請求項 3】

前記駆動リング (23) は、前記変位板 (21) の下に配置され、前記変位板 (21) を通って延びる前記回転駆動装置 (26) は、前記駆動リング (23) と係合することを特徴とする、請求項 1 に記載の車両。

【請求項 4】

前記偏心板 (11) の、偏心して位置付けられた変位軸受 (13) は、前記変位板 (21) に取付けられることを特徴とする、請求項 2 に記載の車両。

【請求項 5】

前記偏心板 (11) の下側に位置付けられた変位軸受 (13) によって特徴付けられ、その中心軸 (19) は、前記駆動リング (16) の中心軸 (18) に偏心して位置付けられる、請求項 2 に記載の車両。

【請求項 6】

車両の通常動作（１）の間に、前記変位軸受（１３）を固定するロック（１４）によって特徴付けられる、請求項５に記載の車両。

【請求項７】

前記上部構造（３）を変位させるために、前記変位軸受（１３，１４）は解除されて、前記上部構造（３）は、前記ブーム（５）を用いて地面上に固定されることを特徴とする、請求項６に記載の車両。

【請求項８】

前記上部構造（３）は、前記回転駆動装置（１５）を作動させることによって変位されることを特徴とする、請求項７に記載の車両。

【請求項９】

動作圧を前記上部構造（２）から前記シャーシ（３）に伝えるための、前記偏心板（１１）内の偏心回転ダクト（１２）によって特徴付けられる、請求項２から請求項８のいずれかに記載の車両。

【請求項１０】

前記変位板（２１）のための線形ガイド（２２）によって特徴付けられる、請求項３に記載の車両。

【請求項１１】

前記車両（１）の通常動作中に、それによって前記ガイド（２２）に前記変位板（２１）が固定されるロック（２５）によって特徴付けられる、請求項１０に記載の車両。

【請求項１２】

前記ガイド（２２）内の変位動作を制限するための、前記変位板（２１）上の止め（２７）によって特徴付けられる、請求項１１に記載の車両。

【請求項１３】

前記回転駆動装置（２６）は、前記ロック（２５）が開放された後に、前記上部構造（３）の変位を行なうことを特徴とする、請求項１２に記載の車両。

【請求項１４】

前記シャーシ（２）に対する油圧の動作圧のための回転ダクト（２４）によって特徴付けられる、請求項３に記載の車両。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

この発明の変位装置１０は、図３a、図３a および図３a のいずれにも示された、この例においては掘削機である車両で用いられる。変位装置１０は、タイヤまたはチェーンと油圧式駆動手段４とが設けられたシャーシ２と、掘削ショベル６等の工具を含むブーム５、運転者の運転台７、および後部８が設けられた掘削機１の上部構造３との間に、回転および／または滑動して変位することが可能な接続を確保する。この発明の変位装置１０を用いた、シャーシ２と上部構造３との間の接続は、車両、すなわち掘削機１またはローダの作業能力に対して多数の著しい利点を有する。これらの利点のいくつかを、図３b および図３c ～図３b および図３c の例を用いて、ならびに、図５および図６を用いて説明することができる。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

図２に従った実施例では、上部構造３内の動作圧の生成器と、シャーシ２内の油圧式装

置（油圧式エンジン、圧力シリンダ等）との間で作動液を流動させるために、標準的な回転ダクト 24 が適切である。